

この内容は、発表者個人の見解であり、組織としての見解ではありません。

ますます重要となる製造業の国際競争力と それを支える基盤である労働安全衛生の重要性

令和4年10月20日

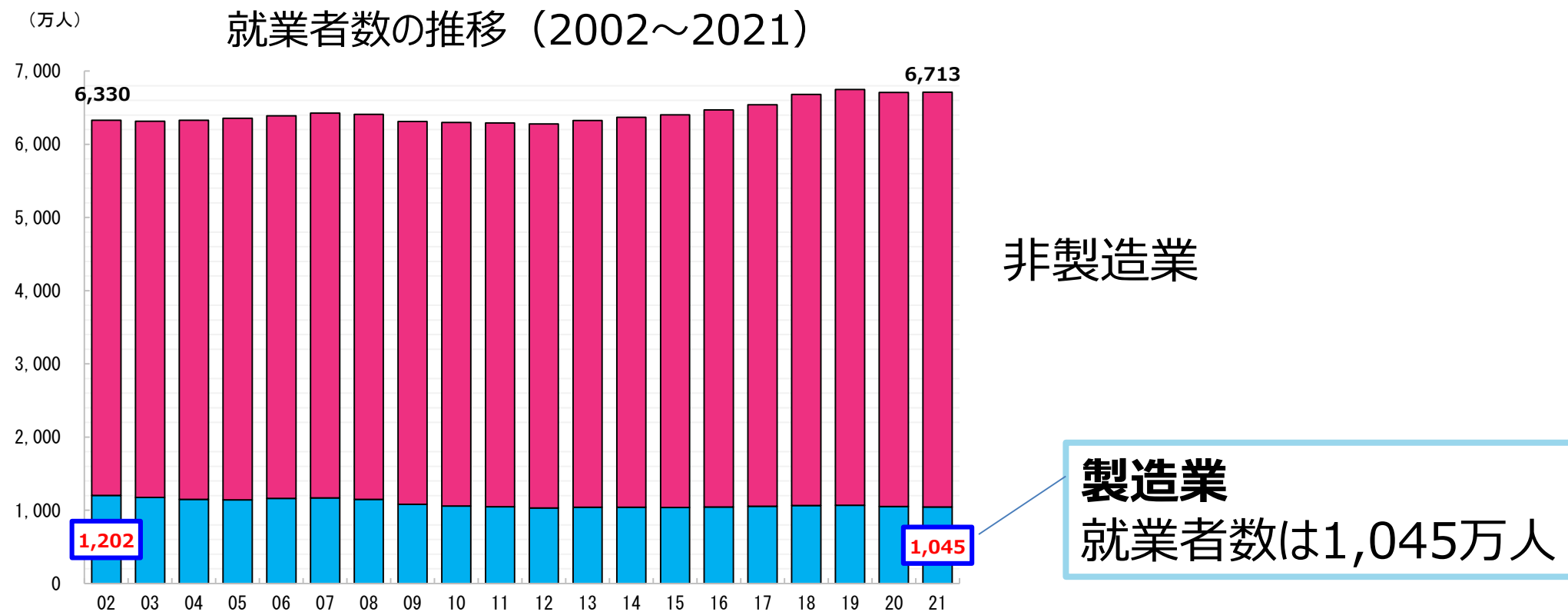
経済産業省 製造産業局担当審議官

つねとう あきら

恒藤 晃

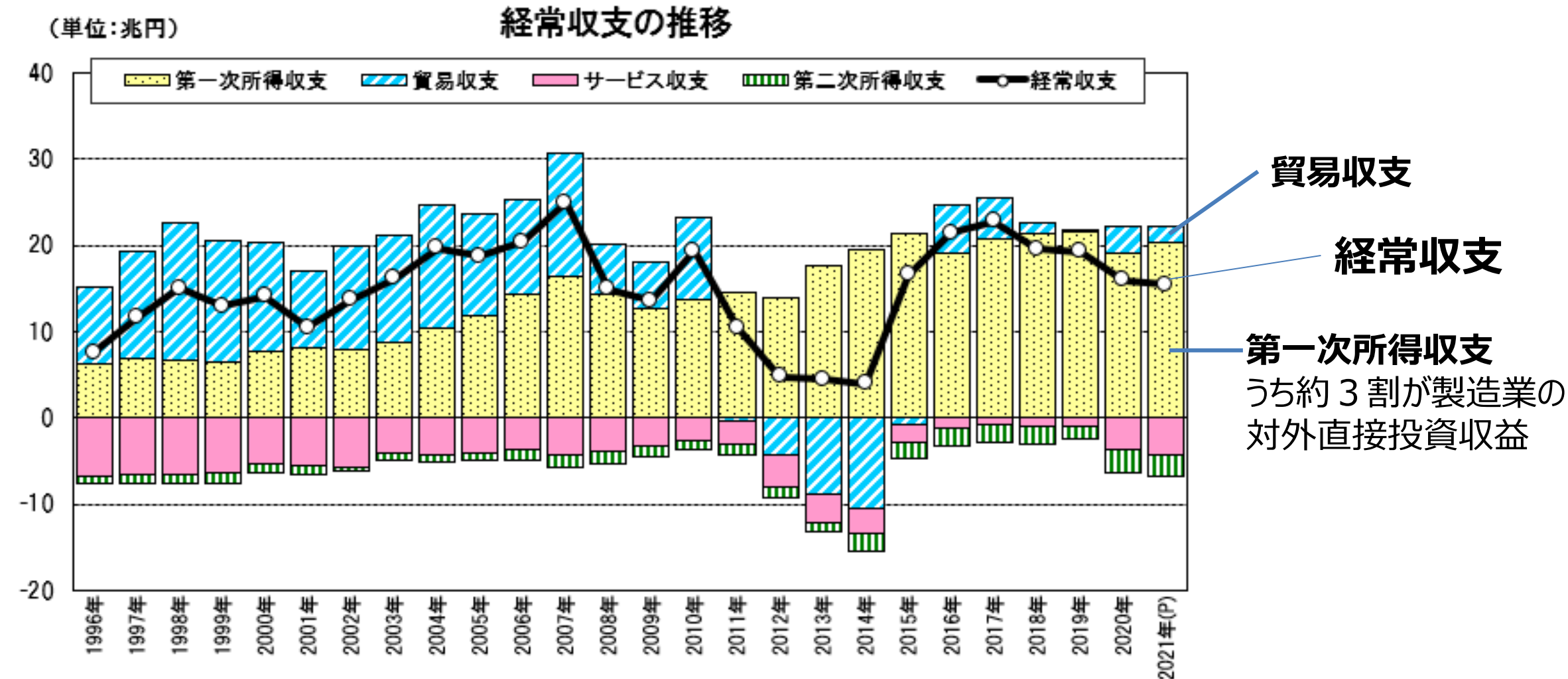
製造業は、我が国経済を支える重要な産業

- 製造業は、我が国GDPの約20%、雇用の約16%を支えている。



- また、製造業は、我が国の外貨獲得の、かなりの部分を支えている。

経常収支の推移（1996～2021）



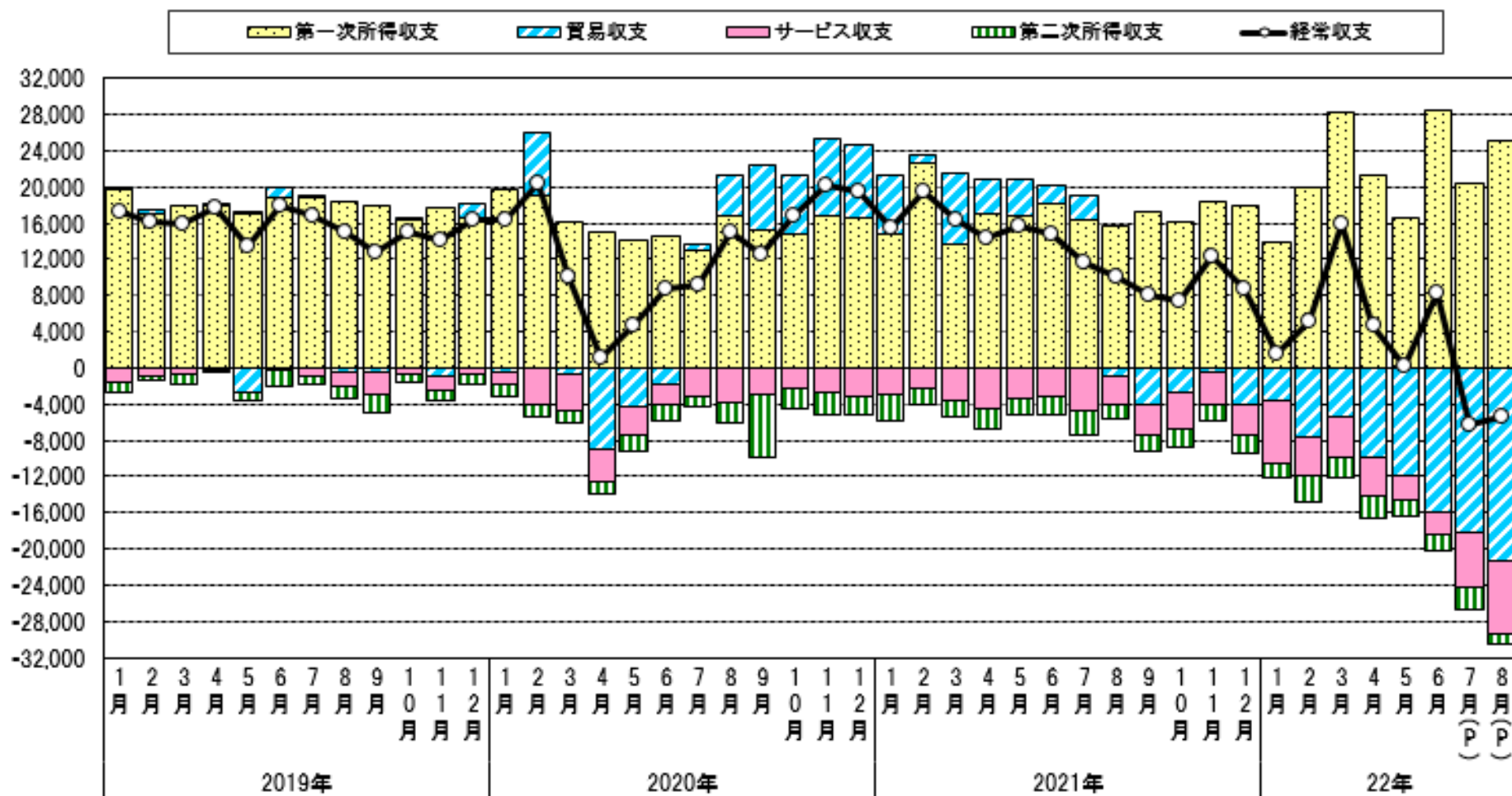
(備考)Pは速報値をあらわす。

経常収支の推移（2019～、月ごと）

（単位：億円）

（参考）経常収支の推移

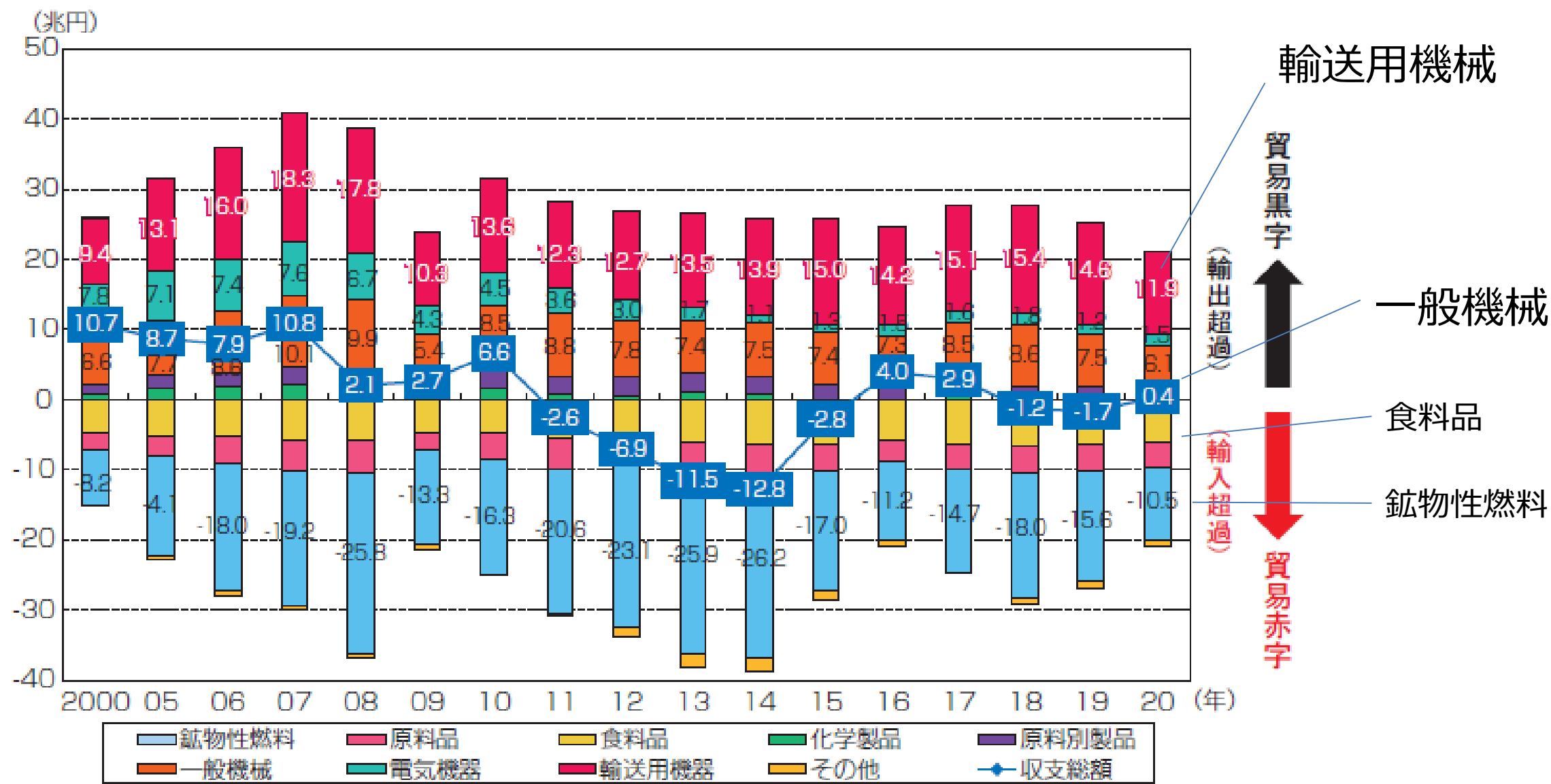
季節調整済



（備考）Pは速報値をあらわす。

【財務省国際局為替市場課】

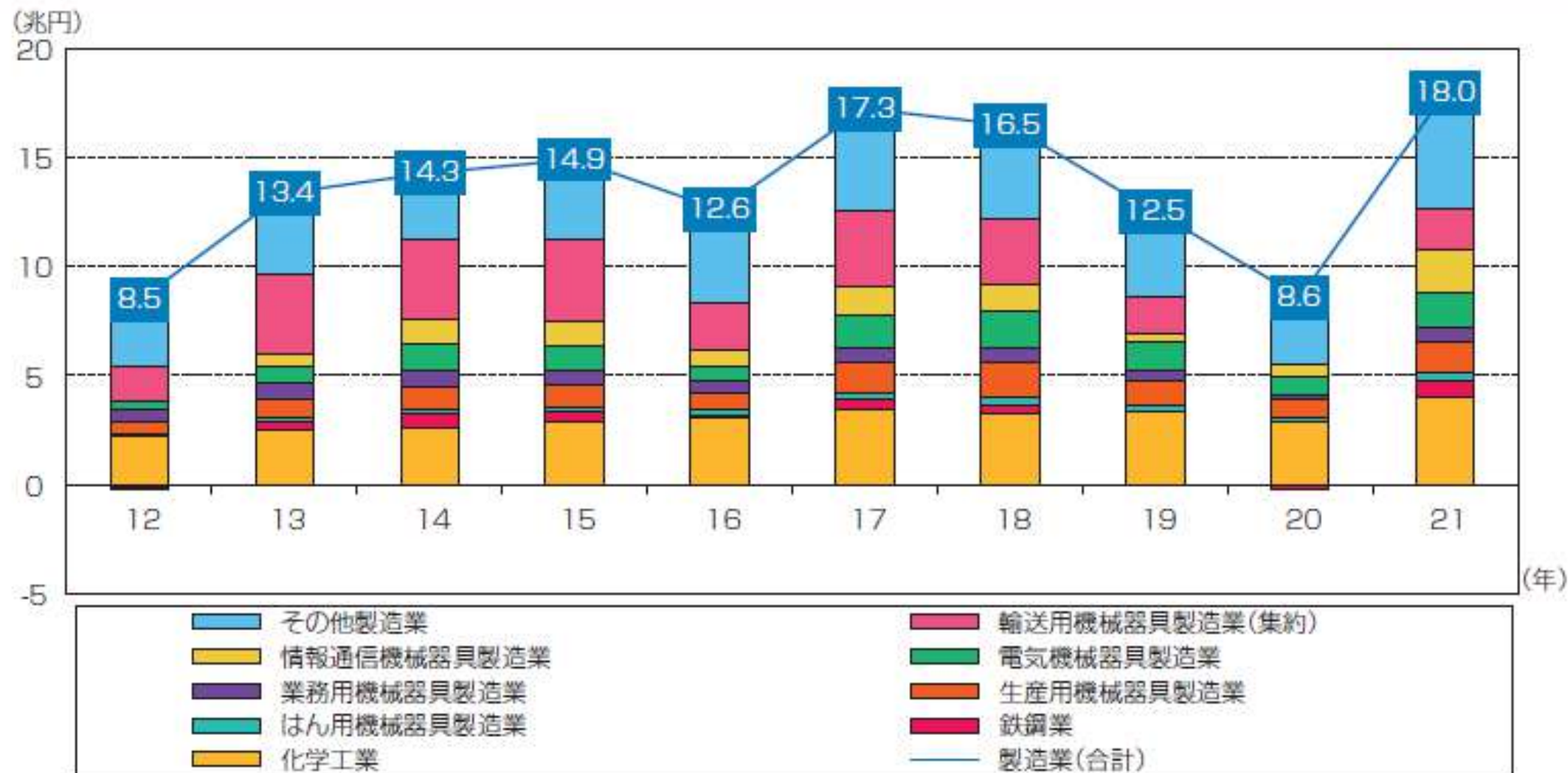
貿易収支の推移（2000～2020）



製造業の営業利益の推移（2012～2021）

2021年は、製造業全体の営業利益は大きく改善。

今の為替水準であれば、我が国製造業は競争力あり。



近年の事象から、製造業の競争力の重要性が再認識されている。

- コロナ禍による一部物資の供給途絶・サプライチェーンの混乱
- 半導体不足
- デカップリング政策（経済ブロック化）の動き
- ロシアのウクライナ侵略等による燃料高・資源高

経済安全保障の重要性

- ✓ 不可欠物資の国内生産確保
- ✓ 他国に頼られる存在になることの重要性

外貨を稼ぐ力の重要性

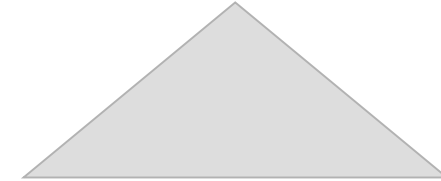
製造業の競争力が重要

労働安全衛生は、我が国製造業の競争力の基盤

我が国製造業の強み

- 摺り合わせ
- きめ細かいニーズ対応力
- 現場力 など

チームワーク、信頼関係
仕事に対する熱意、責任感



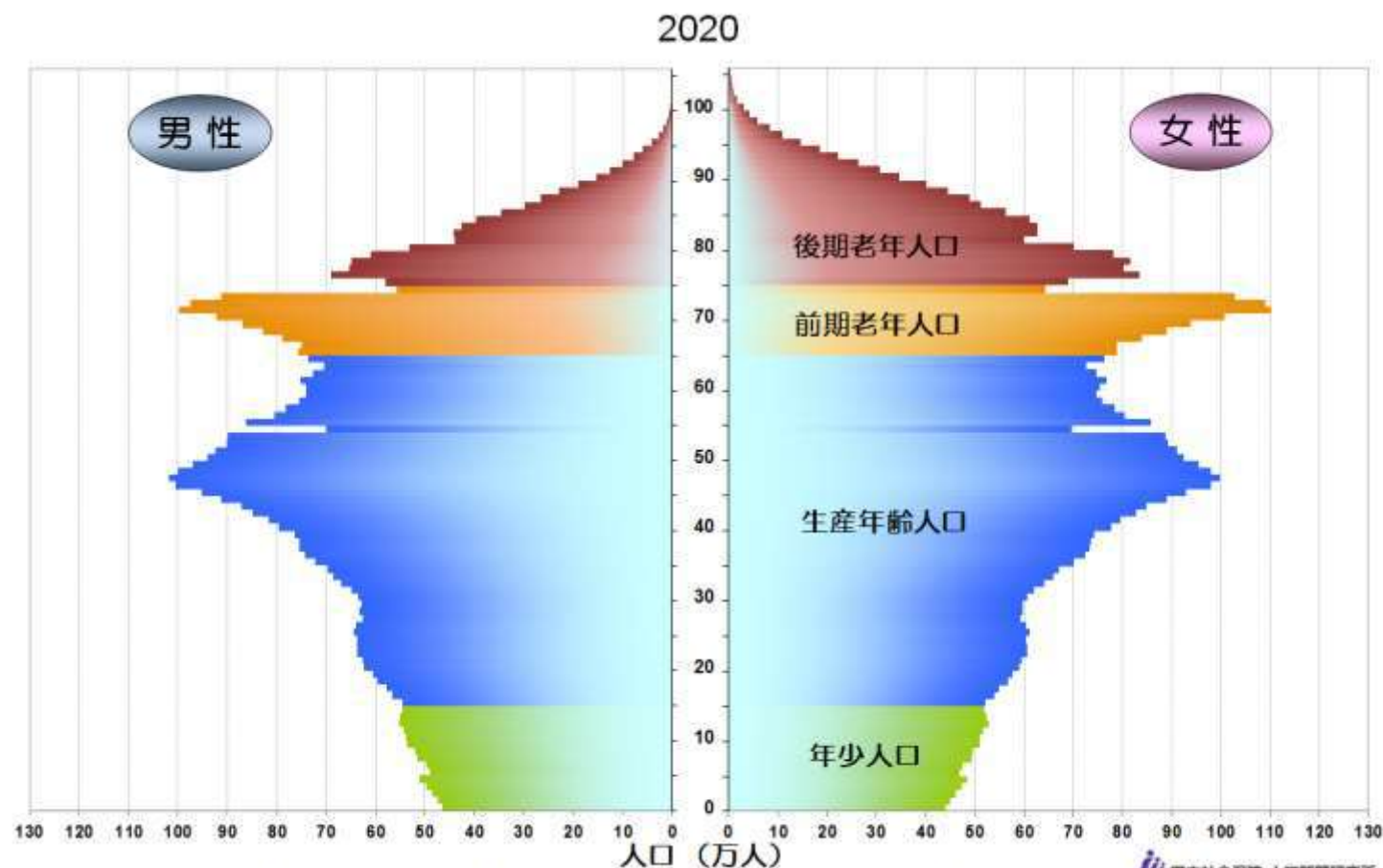
労働安全衛生は、これらを支える基盤

企業経営においても、従業員の働きやすさが企業価値を高める重要な基盤であることが広く認識されるようになってきている。

- 企業経営の観点からも、安全で働きやすく魅力ある職場作りが、企業の持続的な成長の基盤であることが広く認識されるように。
- 近年は、統合報告書等において、非財務情報として**労働安全衛生に関する情報（目標・実績など）**を開示する企業が増えている。
- また、**労働安全衛生の実績（労働災害発生数など）**を含むESG指標を、**役員報酬に反映させる企業も増えている**。

注）経済産業省は、企業における安全に関する情報開示を促進するため、「産業保安及び製品安全における統合的開示ガイダンス」を策定・公表。（2021年4月改訂版）

**今後、若年人口はさらに減少。
我が国製造業の強みである現場力を維持・強化していくためには、
その基盤である労働安全衛生のさらなる強化が必要ではないか。**



資料：1965～2015年：国勢調査、2020年以降：「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位(死亡中位)推計）。

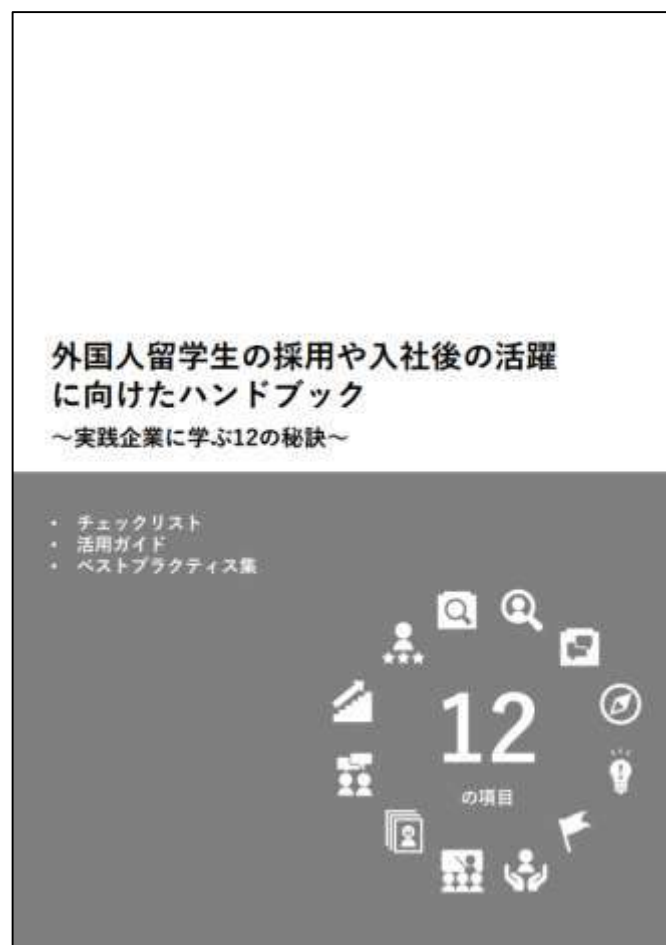
外国人労働者数の推移（2008～2021）



製造業
(約47万人)

参考：外国人留学生の採用や入社後の活躍に向けたハンドブック

- 経済産業省では、外国人留学生の採用や入社後の活躍に向けて留意すべき点やベストプラクティスを整理した、ハンドブックを策定（2020年2月）



まとめ

- 製造業は、我が国経済・雇用を支える重要な産業。
- 我が国の製造業の強みは現場力。労働安全衛生は、その基盤となるもの。
- 企業経営の観点からも、安全で働きやすく魅力ある職場作りが企業の持続的な成長の基盤であることが、広く認識されるように。近年は、統合報告書などにおいて労働安全衛生に関する情報を開示する企業が増えている。
- 若年人口がさらに減少する中、我が国製造業が国際競争力を維持し、さらに発展するためには、働きがいのある・働きやすい職場であることが重要。
- **引き続き、経営層がリーダーシップを発揮し、労働安全衛生をしっかりと確保していくことが求められている。**
- **加えて、企業の垣根を越えたノウハウの共有等がこれまで以上に重要になるのではないか。（業界団体の役割がこれまで以上に重要に？）**